

第4次丸亀市生涯学習推進計画
進化管理表
(令和6年度)

丸亀市協働推進部まなび文化課

令和7年6月18日

成果指標一覧

基本 目標	基本 施策	指 標 項 目	基準値 (令和2年 度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値 (令和7年度)
1	(1)	オンライン講座実施数	0件	3件	1件	1件	5件
		主な社会教育施設（注1）利用者数	381,244人	492,076人	505,017人	511,939人	400,000人
	(2)	ジュニアリーダーが新たに養成された人数（延べ）	5人／年	9人	19人	21人	25人／4年
		市民学級の参加者数	461人	618人	750人	792人	600人
	(3)	地域いきいき講座の参加者数	3,351人	7,533人	9,835人	9,970人	3,500人→8,000人 ※令和5年度 目標値変更
2	(4)	生涯学習人材バンク登録者数	0人	55人	51人	45人	100人
		NPO、企業、大学等による講座の企画・提案講座数	年間5講座	7講座	6講座	6講座	年間6講座
	(5)	地域コーディネーター（注2）養成者数	年間12人	9人	3人	10人	年間12人
		生涯学習クラブ登録団体数	354団体	328団体	319団体	310団体	360団体
3	(6)	地域学校協働活動（注3）とコミュニティ・スクール（注4）の一体的推進に係る研修会参加者数	年間0人	24人	8人	6人	年間30人
	(7)	家庭教育事業参加者数	3,125人	1,794人	1,999人	2218人	3,500人
		少年団体指導者研修会参加者数	62人	50人	44人	43人	80人

(注1)主な社会教育施設	施設名		利用者数
	生涯学習センター（児童館除く）		99,748人
	飯山総合学習センター		36,308人
	東小川公民館		6,656人
	図書館	中央	57,447人
		綾歌	10,566人
		飯山	53,411人
	コミュニティセンター		247,803人

（注2）地域コーディネーター・・・学校と地域の橋渡し役として、学校の抱える諸問題と地域活動と結び付け、子どもの育ちや学びを支えていく体制づくりを推進する者

（注3）地域学校協働活動・・・地域の高齢者や保護者、PTAなど、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

（注4）コミュニティ・スクール・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地域住民や保護者等の意見を学校運営に反映させる仕組みとして、「学校運営協議会」を設置している学校

基本目標1 多様な学びのための環境づくり

基本施策（1）だれでも学べる場の提供

《具体的施策①》 ICTの活用

会場に来られない方や若い世代の方など、新たな層の参加を促すために、生涯学習の新たな形として、オンラインなどを活用した講座や研修の開催、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報発信を行います。

主な取組	関連部署
・ オンラインを用いた市民学級の開催 ・ 高齢者向けオンライン講座（レベル別）の開催 ・ 社会教育施設やコミュニティセンターの職員向けオンライン講座事前研修の開催 ・ SNSを活用した各種情報発信	秘書課 デジタル活用推進課 地域づくり課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 「子育て世代のお金と健康の講座」全2回をオンライン受講可能講座として実施。（オンライン受講者延べ3人）
令和6年度の取組内容に対する評価
・ 子育て世代を対象とした講座で実施し、会場に来られない方への受講機会の提供はできたが、応募人数が少なかったため、内容等も含めてオンライン講座の実施については検討する必要がある。
令和7年度の事業計画
・ オンライン講座としての実施は未定。オンライン講座で効果的な内容の講座を検証する。

回答部署 秘書課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
Facebook、X、YouTube、LINEによる情報発信を実施した。
令和6年度の取組内容に対する評価
LINEの情報発信からホームページへ誘導する仕組みを利用した取組みを継続して実施するとともに、情報発信に有益な市公式LINE登録者数の増加を目的としたデジタルギフトキャンペーンを実施した。
令和7年度の事業計画
引き続きLINE登録者数を増やすため、デジタルギフトキャンペーンを予定している。

回答部署 デジタル活用推進課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
シルバー人材センター及び、城北・城乾・郡家・土器・垂水コミュニティセンターにおいて希望者を対象にスマホ教室を開催した。参加者137人
令和6年度の取組内容に対する評価
受講された方からは概ね好評であり、一定の効果があったものとする。
令和7年度の事業計画
今年度も、シルバー人材センター及びコミュニティセンターから希望者を募り、高齢者向けのスマホ教室を開催する。

回答部署 地域づくり課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
デジタル活用推進課の丸亀市スマホ教室をコミュニティセンター5カ所で計13回、94名の参加があった。指定管理者において、独自にデジタルサイネージを導入し住民周知などを行っている。
令和6年度の取組内容に対する評価
スマホ教室については、参加者も多いため成果が感じられるが、今後、SNSの活用などに発展するために、継続した事業展開が必要である。
令和7年度の事業計画
継続して、市と携帯会社が連携しコミュニティセンターでスマホの使い方教室を開催する。

《具体的施策②》公共施設の有効活用

学びの場として、生涯学習センターや図書館などの既存の社会教育施設だけでなく、マルタスや今後建設予定の新市民会館に設けられる様々な機能も積極的に活用します。

主な取組	関連部署
・市民学級の開催 ・「児童館」を活用した学習機会の提供 ・幼稚園、保育所（園）、認定こども園での発達段階に応じた絵本の読み聞かせ ・蔵書絵本の充実、保護者に向けた本の紹介、リスト作成、貸出 ・生涯学習クラブ活動への支援 ・新市民会館の整備、管理運営計画策定	子育て支援課 幼保運営課 図書館 まなび文化課（文化振興担当・生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・令和6年度市民学級を生涯学習センター、飯山総合学習センター、マルタスを主な会場として計32講座開催し、792名の受講があった。 ・生涯学習クラブに施設使用料の減免措置を継続した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・昨年度に引き続き積極的にマルタスを活用したとともに、丸亀城の石垣復旧現場や新しいスポーツ施設への施設見学も実施し、社会教育施設ではない施設についても活用することができた。
令和7年度の事業計画
・令和7年度の市民学級は、丸亀城の石垣復旧現場の見学に加え、新しい浄化センターの見学も取り入れ、計14講座を予定している。また、親子都市、北海道京極町との交流講座を双方で開催し、歴史や文化を学ぶこととしている。 ・生涯学習クラブに施設使用料の減免措置を継続する。生涯学習センター代替施設での利用は無料とする。

回答部署 まなび文化課（文化振興担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・新市民会館の工事は、令和8年2月末の完成に向けて遅滞なく進んでいる。
- ・丸亀市民会館条例施行規則の検討や備品の選定を進めている。
- ・文化芸術推進サポーター養成講座、WEBライター塾、アーティスト・コーディネーター養成講座について、昨年度から内容を充実させて実施した。

令和6年度の取組内容に対する評価

- ・新市民会館の工事における人件費や資材費の高騰によるインフレスライド、工期の延伸や工事内容の変更に対して、適切に対応することができた。
- ・開館後の具体的な運営を見据え、施行規則の検討や備品の選定を、指定管理者や工事監理業者と打合せを密に行いながら進めることができた。
- ・文化芸術推進サポーター養成講座は、「まなびと文化」をキーワードに講座を開催し、主体的で自由なまなびの場について考えることができた。
- ・WEBライター塾は、伝わる文章や写真撮影の方法など情報発信スキルが学べる講座として実施し、市民目線の身近な視点で文化芸術活動の魅力を発信できる人材を育成することができた。
- ・アーティスト・コーディネーター養成講座は、学んだことを講座の中で自ら実践できるプログラムを設けたことで、様々な分野を繋げながら社会課題にアプローチするという文化芸術の可能性を参加者に体感してもらうことができた。

令和7年度の事業計画

- ・新市民会館完成に向け、整備工事を実施する。
- ・丸亀市民会館条例施行規則を公布し、市民利用に向けた説明会や施設使用受付などを指定管理者と連携して実施する。
- ・アーティスト・コーディネーター養成講座を開催する。

回答部署 子育て支援課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・こどもたちに健全な遊びの提供や健康の増進、情操を豊かにするため、遊びを通じて様々なことが体験できる居場所の提供を行った。児童館来館者数30,477人（R5 34,790人） ・地域住民とも交流ができるイベント（こども夏の集い、ハロウィン児童館等）では、地域ボランティアや学生ボランティアの協力もいただき、安全に考慮しつつ、学校や年齢の異なる交流の場の提供を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
新型コロナウイルス感染症による影響も落ち着いたことにより、多くの講座やイベント等を実施した。イベントでは、多くのボランティアにも参加いただき、こどもたちが地域住民等との異年齢交流を図ることができた。
令和7年度の事業計画
引き続き、人気講座を多く実施したり、工夫あふれるイベントを定期的の実施するとともに、SNSや広報まるがめ、丸亀市ホームページなどで周知し、利用者増に努めたい。

回答部署 幼保運営課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
幼稚園、保育所、認定こども園の各施設において、社会見学で消防署や野球場等の公共施設を訪問するなどし、子どもの学習の機会を作った。また、各施設で発達段階に応じた絵本の読み聞かせを行えている。
令和6年度の取組内容に対する評価
公共施設を学びの場として有効に活用できた。
令和7年度の事業計画
引き続き公共施設を学びの場として積極的に活用する。

回答部署 図書館

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
従来の図書館サービスに加え、令和7年3月より非来館サービスとして「丸亀市電子図書館」を開館した。絵本の電子図書も導入し、貸出閲覧の利用にしている。普段来館が難しい方の読書環境整備を図った。
令和6年度の取組内容に対する評価
令和6年度電子図書館：1日平均利用者数73人、総貸出数932点（うち絵本貸出数96点）、総閲覧数2801点（うち絵本閲覧数280点）
令和7年度の事業計画
昨年度の絵本特集展示や図書館ホームページ等での絵本紹介などの取組内容を継続しつつ、「丸亀市電子図書館」サービスの利用促進に努めていく。

《具体的施策③》コミュニティセンターにおける生涯学習活動の包括的支援

地域における生涯学習活動の拠点であるコミュニティセンターを活用し、地域における生涯学習活動を包括的に支援します。

主な取組	関連部署
- 生涯学習クラブ活動への支援 - 地域における生涯学習活動の相談対応 - 地域課題解決に向けた講座の充実	地域づくり課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
- 生涯学習クラブがコミュニティセンターで活動する際の施設使用料の減免措置を行った。（島しょ部を除く15コミュニティセンター、1分館） - 生涯学習推進員が交代した際には、生涯学習推進員についての説明を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
- 生涯学習クラブの団体登録条件については、コミュニティセンターから見直しの要望があるため、検討する。 - 生涯学習推進員から講座情報についての提供を要望されたので随時行うこととしたい。
令和7年度の事業計画
- 生涯学習クラブがコミュニティセンターで活動する際の施設使用料の減免措置については、引き続き行っていく。 - 研修や意見交換の場を設け、生涯学習推進員とよりよい関係性を築く。

回答部署 地域づくり課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
各地域のコミュニティセンターを活用して、地域住民を対象に様々な生涯学習クラブ活動を実施し、世代を問わず、学びの機会を提供した。また、コミュニティ祭り等のイベントにおいてクラブ活動の成果について発表の場を提供した。
令和6年度の取組内容に対する評価
コミュニティセンターを活用し生涯学習に係るクラブ活動及び講座を開催すると同時に活動発表の場を提供することにより、地域住民の生涯学習意欲の向上につなげた。
令和7年度の事業計画
引き続き、コミュニティセンターにおける生涯学習講座の開催とその発表の場の提供により、地域住民の生涯学習意欲向上を図る。

基本施策（２）ライフステージの課題に対応する学習機会の充実

〈具体的施策④〉青少年リーダーの育成

本市の将来を担うリーダーの育成に向けて、青少年の自立性・社会性を身につける体験活動や地域活動への参加機会の提供や視野を広げる活動を推進します。

主な取組	関連部署
・体験型活動の提供 ・交流都市との少年団体交歓研修の開催 ・子ども会によるジュニアリーダーの養成支援 ・新成人との協働による成人式の開催	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・体験活動（天体観察会：7人参加）を実施した。 ・親子都市の北海道京極町と交歓研修会を実施した。（3月派遣） ・子ども会によるジュニアリーダー養成の企画・運営を支援した。 ・令和7年二十歳の成人式では、実行委員13名と式典を開催した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・子ども会のジュニアリーダー養成については、内容が固定化しており、目的意識を持った活動ができるよう支援が必要。 ・京極町との交歓研修会では、両市町の特色や歴史を学ぶ機会を通して、子ども同士の親交を深め、地域への関心を高めることができた。 ・二十歳の成人式では、記念写真撮影時の待機時間や場所に課題があるため、より効率的で、かつ思い出に残る実施方法を実行委員と検討する必要がある。
令和7年度の事業計画
・子ども会のジュニアリーダー養成については、事業を継続しつつ、参加者自身で活動内容の見直し・検討を行う場を設け改善を進める。 ・京極町との交歓研修会は、8月に受入を予定している。 ・二十歳の成人式では、公募で実行委員を新たに募集し、企画・運営を行う。

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
小学校では、地域の方を指導者にお招きした米作りや野菜作り体験、地域のクリーン活動への参加を行った。中学校では、地元企業を中心に様々な職種の企業に協力していただき、地元企業PR事業や職場体験学習を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
市内小中学校において、発達段階に応じた体験活動を、それぞれのねらいを明確にし行うことができた。体験前後の事前・事後指導を充実することで、児童生徒の意欲や充実感の向上が見られた。
令和7年度の事業計画
昨年度までと同様、各小中学校において、発達段階に応じた体験活動を、それぞれのねらいを明確にし計画的に行っていく。

≪具体的施策⑤≫働く世代や子育て世代の学ぶ機会の充実

働く世代や子育て世代に対し、参加しやすい内容等を考慮した学習機会を提供します。

主な取組	関連部署
・オンラインでの市民学級の開催 ・民間団体等が主催する講座、研修会の情報発信 ・生涯学習センター、公民館等社会教育施設主催講座（メンス料理教室、親子リトミックなど）の情報提供	健康課 子育て支援課 幼保運営課 学校教育課 図書館 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・子育て世代を対象とした市民学級「子育て世代のお金と健康の講座」をオンライン受講可能講座として開催した。 ・市民学級での募集については託児の案内を記載した。 ・市役所、生涯学習施設、コミュニティセンター等に放送大学や市民学級のチラシを設置した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・託児の利用希望はなかったが、子どもと一緒に参加できるよう配慮した。 ・子育て世代に対する講座（オンライン講座）の参加人数が少ないため内容等を検証する必要がある。
令和7年度の事業計画
・子育て世代に対する講座（オンライン講座）は内容を検証するため市民学級では未実施。 ・すべての講座において託児の希望に対応できる体制をとる。

回答部署 健康課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
「マイナス1歳の子育て講座」の開催を、会場参加とオンラインで参加するハイブリッド方式で講座を実施した。また、日曜にも開催し、夫婦での参加を促した。
令和6年度の取組内容に対する評価
参加者176組中7組がオンラインを利用して教室に参加した。アンケート結果などから、妊娠中の体調を心配することなく参加できる、人数制限なく家族で参加できることなどから、オンライン方法での実施を評価する内容があった。
令和7年度の事業計画
引き続き、年間13日実施する教室について、ハイブリッド方式とあわせて実施する。

回答部署 子育て支援課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・対象となる人が参加しやすい時間帯や曜日を考慮した親子講座（オンライン含む）を開催し、交流の場を提供した。（オンラインひろば“絵本の読みきかせ”、ベビーマッサージ、休日ひろばなど） ・NPO等が実施する講座の情報を発信した。（丸亀市ホームページ「みてねッと」など）
令和6年度の取組内容に対する評価
参加アンケートでは、大部分が良好な評価をいただいている。
令和7年度の事業計画
引き続き、参加しやすい講座を企画していく。 開催する講座等を多くの人に認知されるよう、丸亀市のホームページやSNS、企業向けメールマガリスト等を活用して周知する。

回答部署 幼保運営課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
幼稚園、保育所、こども園の子どもの保護者に対し、家庭教育講座等の開催により学習機会を提供した。また、民間団体等主催の講座の情報提供を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
保護者に対し、講座の開催や各種行事の情報提供を通じ、学習機会の提供を図れた。
令和7年度の事業計画
保護者向けの講座を開催するとともに各種行事の情報提供を行い、学習機会の確保に努める。

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
丸亀市PTA連絡協議会主催の丸亀市PTA合同研修会に後援として協力し、学校、家庭、地域に向けて広く周知を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
前年度より、参加人数が大幅に増加した。（R5:88名→R6:127名）
令和7年度の事業計画
幅広く周知を行うことで、学校、家庭、地域が、共に学ぶことのできる機会の充実に努めていく。

回答部署 図書館

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
ポスターの掲示やチラシ・パンフレットの配布等、図書館の関連団体の講座やイベントの周知を行なった。依頼のあった民間団体と連携し、関連本の展示・貸出と団体についての情報発信を行なった。（例：ふじみ園・発達障がい啓発週間の展示など）
令和6年度の取組内容に対する評価
関連団体との連携展示で関連本の貸出や資料配布を行うことにより、図書館来館者へ団体の周知や関連本の提供を行うことができた。
令和7年度の事業計画
今後も関連団体のポスター・チラシ等の掲示や連携展示の依頼を積極的に受け入れて実施していく。

《具体的施策⑥》高齢者の学習機会の充実

高齢者が今後の生き方を自ら積極的に考えるための、生きがいや暮らしにつながる講座、健康づくりのための講座等の学習機会を提供します。

主な取組	関連部署
・介護保険制度等、暮らしに直結する講座の開催（市民学級等） ・健康や福祉に関する知識を向上させるための講座の開催 ・高齢者のデジタル格差解消に向けた講座の開催	健康課 高齢者支援課 福祉課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・市民学級において税金、年金のほか損害保険や認知症、交通事故防止についての講座を実施した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・高齢者に関心が高い内容の講座を実施することができた。 ・定年後の生きがいや余暇の過ごし方についてのきっかけとして応募し、意欲的に受講されていた。
令和7年度の事業計画
・市民学級において、介護予防、健康寿命、税金、相続等についての講座を実施する。受講後にボランティアとして活動できる講座を実施予定。

回答部署 健康課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
市民を対象とした生活習慣病予防や健康づくりについての各種健康教育を各コミュニティセンターや保健センター等で計1,253回実施・延べ43,047人参加(内65歳以上の参加延べ37,182人)
令和6年度の取組内容に対する評価
感染症対策を行いながら、各種健康教育を実施。参加数は前年より増加し、あらゆる機会を捉えて健康づくりについて周知啓発できた。各コミュニティセンター等での講師による健康教育については、講師の選定や内容、周知等コミュニティと連携して実施でき、好評であった。
令和7年度の事業計画
前年度と同様に、あらゆる機会を捉えて健康づくりについて周知啓発していく。また、各コミュニティセンターや保健センター等で講師を招聘しての健康教育についてもコミュニティと連携して実施していく。

回答部署 高齢者支援課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・体操教室などの出前講座 6回開催 ・「元気いっぱい！長生き体操」 自治会など46カ所で開催 ・フレイル予防教室（口腔、栄養、聴こえ）14回開催 ・介護予防等の各種体操教室 352回開催
令和6年度の取組内容に対する評価
運動に加えて新たに口腔、栄養、聴こえに関するフレイル予防教室を開催し、自分自身の生活において介護予防や健康などへの意識を持っていただくことで、行動変容を促すきっかけとなり、健康維持・増進、介護予防に役立っている。
令和7年度の事業計画
体操教室などの運動を中心に、聴こえ、口腔、栄養も加えた教室を引き続き実施し、介護予防や健康維持に取組み、健康寿命の延伸に努める。

回答部署 福祉課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・要請により、健康や福祉に関する知識を周知する出前講座を実施している
令和6年度の取組内容に対する評価
・令和6年度実績なし
令和7年度の事業計画
・今後も出前講座を通して健康や福祉に関する知識の向上に努める。

基本施策（3）現代的な課題に対応する学習機会の充実

〈具体的施策⑦〉生涯学習推進員による取組への支援

地域における生涯学習のキーパーソンとなり、学びを通して「人」や「地域」をつなぐ役割をもつ生涯学習推進員を支援し、コミュニティセンターを拠点として、日々の活動から見えてくる地域の課題やニーズを踏まえた生涯学習を推進します。

主な取組	関連部署
・地域いきいき講座の開催（まちづくり、防犯、防災などの地域課題や男女共同参画、消費者問題、環境問題、健康、介護などの現代的課題、子育てに関する様々な課題に対応した生涯学習講座） ・生涯学習推進員への相談対応の強化 ・地域いきいき講座で活用できる講師人材の紹介等による開催支援	地域づくり課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域いきいき講座の実施（17コミュニティ、358件、9,970人） ・講座の企画に際して、各講座案内の情報を提供した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・すべてのコミュニティで地域いきいき講座を実施することができ地域のつながりや学びを得た。
令和7年度の事業計画
・地域いきいき講座の実施 ・生涯学習人材バンクや各種講座の情報提供 ・生涯学習推進員とよりよい関係性を築き、相談しやすい環境を作る。

回答部署 地域づくり課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
地域コミュニティ協議会から選出された生涯学習推進員が地域住民に向けて、生涯学習講座を企画、開催し、広く地域住民が受講することにより住民の学びにつながった。
令和6年度の取組内容に対する評価
地域コミュニティ住民の生涯学習推進に寄与した。
令和7年度の事業計画
引き続き、生涯学習推進員の関わりにより、学びの機会となる生涯学習講座を地域住民に向け企画・開催し、生涯学習の推進を図る。

《具体的施策⑧》多様な立場の学習支援（障がい者、外国人など）

障がい者に配慮した学習情報やスポーツ・文化にふれる機会を提供し、社会活動への参加を支援します。

地域に暮らす外国人住民に、生活に関わる学習機会や地域住民との異文化交流・国際理解を深める場を提供します。

主な取組	関連部署
・多文化共生につながる講座の開催（多文化共生日本語教室、異文化理解講座、国際交流クッキング、写真パネル展）	秘書課
・障がい者向けスポーツ大会や教室の開催 ・地域出前文化教室の開催	福祉課 スポーツ推進課 まなび文化課（文化振興担当）

回答部署 秘書課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
日本語教室を開催し、外国人住民の日本語学習の支援を行った。また、必要に応じ、生活に関する行政情報や、防災に関する情報等を多言語（英語、スペイン語、中国語、やさしい日本語）で情報発信した。多文化交流事業では、中学生親善使節団の受け入れや写真パネル展の実施により、多文化交流を図るとともに、海ごみクリーン作戦や防災講座での非常食作りなどにより外国人が地域住民として環境問題や災害などへの理解を深める機会となった。 主な多文化交流事業：日本語教室、日本文化紹介講座（生け花）、防災講座（消防署見学・非常食作り）、クリーン作戦、国際交流クッキング（インドネシア料理）など
令和6年度の取組内容に対する評価
日本語教室を開催し、外国人住民の日本語学習機会の確保に努めることができた。また、多文化交流事業の実施により、異文化への理解を深める場を提供するだけでなく、多言語による情報発信やクリーン作戦、防災講座等を通じた環境問題や防災へ関心を持つ機会を設けるなど、地域住民として外国人が安心して暮らせるための取り組みを行うことができた。
令和7年度の事業計画
・日本語教室開催による日本語の学習支援 ・生活に関する行政情報や防災情報など多言語による情報発信の実施 ・多文化共生につながる各種講座の開催（異文化理解講座、国際交流クッキング、写真パネル展等）

回答部署 福祉課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
①丸亀市障がい者スポーツ大会 7月 参加者298名（障がい者と支援者） ②障がい者スポーツ教室 年5回 参加者 85名（障がい者と支援者）
令和6年度の取組内容に対する評価
①丸亀市障がい者スポーツ大会では、学生ボランティアをはじめスポーツ推進委員の方々や福祉ママ等、障がいの無いの方との交流を通して障がい者への理解促進に繋げることができた。 ②障がい者スポーツ教室では、委託しているリハビリテーションセンター指導のもと、レクリエーションやスポーツ競技を通じて障がい者同志の交流、余暇活動の質の向上等に繋がり、好評であった。
令和7年度の事業計画
①障がい者スポーツ大会：11月開催予定。 ②障がい者スポーツ教室：5回開催予定。

回答部署 スポーツ推進課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
障がい者スポーツ大会（298人） 障がい者向けスポーツ教室（5回）
令和6年度の取組内容に対する評価
障がい者向けスポーツ教室は、スポーツ推進委員の協力のもと、卓球バレーやボッチャなどを実施し、障がい者がスポーツに触れる機会を創出できた。
令和7年度の事業計画
障がい者スポーツ大会 障がい者向けスポーツ教室（5回）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・演劇的な手法で認知症への理解と介護について考えるワークショップを実施した。（参加者21人） ・障害者福祉施設（3施設）にコンテンポラリーダンスのアウトリーチを実施した。（延べ参加者 64人） ・障害の有無や年齢等に関わらず誰でも参加しやすい音楽コンサートを実施した。（来場者134人）
令和6年度の取組内容に対する評価
・認知症に関するワークショップでは、認知症の方と介護者の両方を演じてみることで、認知症の方への理解や気遣い、コミュニケーションの取り方を考えるきっかけを提供できた。 ・障害者福祉施設へのアウトリーチでは、参加者が身体を使って自由に表現活動を行うことで、講師や支援員、他の参加者とのダンスを通じた非言語コミュニケーションの体験機会を提供することができた。 ・音楽コンサートでは、鑑賞環境やプログラムに配慮したことで、コンサートの鑑賞に行きづらさを感じている人にも来場していただけた。また、参加型プログラムを取り入れたことで、出演者と来場者がコミュニケーションを取り、会場が一体となって楽しめる雰囲気づくりができた。
令和7年度の事業計画
・指定管理者（福祉事業団）や文化振興事業協議会等との連携による事業の実施

基本目標2 学びでつながり、学びを活かすまちづくり

基本施策（4）学びを通じたネットワークの形成

《具体的施策⑨》指導者人材の発掘、見える化

定住自立圏域市町との生涯学習人材に関する情報交換、登録制度を設け、コミュニティセンターや社会教育施設における各種研修、講座で活用します。

主な取組	関連部署
- 生涯学習人材バンク登録制度の構築 - 人材データベースの定住自立圏域市町との共有	政策課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
- 生涯学習人材バンクへの登録を呼びかけ、継続も含め45件の登録があった。 - 定住自立圏域市町において、丸亀市の生涯学習人材バンクについて周知を行うとともに、令和5年度に行った人材の掘り起こしとリスト化を基に、人材バンクの整備に向けて検討を進めた。
令和6年度の取組内容に対する評価
- 人材バンクの登録件数は、昨年度を下回る結果となっており、新たな登録や活用のための周知をより広く行う必要がある。 - 人材バンクの活用状況が把握できていない。 - 定住自立圏域市町では、丸亀市の生涯学習人材バンクをホームページ等で周知し、圏域内での情報共有ができた。一方、各市町における人材バンクの整備が進んでいないため、整備を行うに当たっての課題等を共有し、相互に連携を深める必要がある。
令和7年度の事業計画
- 人材バンクについては、生涯学習推進員へ情報提供を行い活用を促すとともに、広報誌やホームページ、SNS等、より多くの媒体を活用して周知していく。 - 人材バンクの活用状況が把握できていないため、登録者への聞き取りや要望調査を行う。 - 定住自立圏域内においては、引き続き丸亀市の生涯学習人材バンクについて周知を行うとともに、相互に共有・活用ができるよう検討する。

回答部署 政策課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
年度当初・予算編成前の2回、定住自立圏での関係市町間協議を依頼し、取組項目「生涯学習推進体制等の充実」において、生涯学習の人材データベースを構築するための進行管理に取り組んだ。
令和6年度の取組内容に対する評価
予定どおり取り組むことができた。
令和7年度の事業計画
引き続き、人材データベースの充実・圏域市町間での活用の推進に向けて進行管理を行う。

《具体的施策⑩》NPO、企業、大学等との積極的な連携・協働

NPOや企業、大学など、学びの機会を提供する団体等とのネットワークづくりを進め、主体的・効果的な学びにつなげます。

主な取組	関連部署
・NPO、企業、大学等の企画、提案による講座の開催 ・企業の社会貢献活動と連携したワークショップ等の開催 ・大学等の研究機関が実施するフィールドワークへの支援	まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・市民学級において、丸亀市文化財観光案内会（1講座：10名受講）、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会（1講座：23名受講）、コスモ不動産（1講座：6名受講）、四国職業能力開発大学校（3講座：46名）の提案型講座を開催した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・提案型講座を行う団体が固定化しており、多方面から参加を促すため制度の見直しが必要となっている。
令和7年度の事業計画
・令和7年度市民学級開催予定：丸亀市文化財観光案内会、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会、コスモ不動産、四国職業能力開発大学校 ・提案型講座の制度の見直しを含め、企業や大学等との講座開設に向けて取り組む。

《具体的施策⑪》生涯学習にもつながる他分野施策との相互連携

教育や福祉、スポーツや文化芸術など、生涯学習と関わりのある分野との連携・強化を図り、事業を展開します。

主な取組	関連部署
・スポーツを通じた地域づくり ・教育や福祉との文化芸術を通じた連携 ・マルタスとの連携	学校教育課 福祉課 スポーツ推進課 まなび文化課（文化振興担当・生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・スポーツ推進課や文化財保存活用課と連携し、新たなスポーツ施設や石垣復旧現場の見学ができる講座等を実施し、市の取組を紹介した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・他課と連携することによって、市民の関心が高い分野であるスポーツや歴史、健康などについての取組を紹介する機会を設けることができた。
令和7年度の事業計画
・生活環境課、下水道課、健康課、文化財保存活用課と連携し、新たな浄化センターや石垣復旧現場の見学、健康寿命に関する講座の実施を通して、市の取組を紹介する。

回答部署 スポーツ推進課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
チャレンジウィーク（1,783人） 香川丸亀国際ハーフマラソン大会（10,361人） 市民体育祭（905人） 中讃陸上競技大会（500人） ウエスタンリーグ公式戦（7,941人）
令和6年度の取組内容に対する評価
チャレンジデーの後継イベントのチャレンジウィークを民間団体や各コミュニティの協力のもと実施し、スポーツを通じた地域における連帯感の創出につながった。 香川丸亀国際ハーフマラソン大会では出走エントリー数は、コロナ禍前の人数まで回復基調であり、市をあげた一大イベントとして維持できている。
令和7年度の事業計画
チャレンジウィーク 香川丸亀国際ハーフマラソン大会 市民体育祭 中讃陸上競技大会 ウエスタンリーグ公式戦、フレッシュオールスターゲーム

回答部署 まなび文化課（文化振興担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、ものづくり等のワークショップを12回行った。（参加者1,356人）また、教育委員会と協働で、市内全小学校3年生を対象とした来館プロジェクトを試行的に実施し、14校が来館した。
- ・丸亀市文化協会に加盟している団体が学校と連携しながら、様々な分野の文化芸術体験の機会を提供する文化クラブ体験会を市内の小学校4、5年生を対象に実施した。（参加 1校91人）
- ・新市民会館の開館準備事業のうちアウトリーチ事業として、市内小学校と連携したワークショップ（13校985人）や、市内幼稚園・保育所・こども園と連携した演劇公演（10施設789人）を指定管理者と共に実施した。

令和6年度の取組内容に対する評価

- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、企画展と関連した造形活動や身体表現、音の作品づくりを体験する等、幅広いワークショップを実施した。また、令和7年度から実施する来館プロジェクトを構築するために、小学3年生担任教員を対象とした研修を行い、小学校14校を試行的に来館してもらうなど、多様な文化芸術体験を通じて豊かな感性と創造力を伸ばし育めるような事業を実施できた。
- ・文化クラブ体験会では、子どもたちが体験した成果を周囲に披露したり、文化芸術活動に積極的に参加できたことから、文化芸術に興味・関心を持つきっかけをつくれたと考えている。また、地域の文化芸術団体と子どもたちが繋がるきっかけとなり、中学校の部活動地域展開を見据えた、地域の受け皿づくりに寄与するものとなった。
- ・アウトリーチ事業では、音楽、ダンス及び演劇の各特性を活かし、子どもたちの自由な発想力やコミュニケーション力など非認知能力を養う事業を実施できた。

令和7年度の事業計画

- ・18歳未満の観覧者1名につき同伴者2名まで入館無料となる「親子でMIMOCAの日」を各企画展会期中に2日にわたり実施
- ・美術館へ市内全小学3年生に来館してもらい作品鑑賞をするとともに、施設を身近に感じてもらう「カムカム・ミモカ」の実施
- ・中学校の部活動地域展開を見据えた文化クラブ体験会の継続的な実施
- ・課題解決型事業の実施

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・校長会等において、関係課からのスポーツや文化芸術のイベントの紹介を行った。
- ・「丸亀市部活動の地域との連携・協働」のロードマップに基づき、スポーツ推進課やまなび文化課と連携を図り、地域人材の発掘や各課のイベントの周知等を行った。

令和6年度の取組内容に対する評価

- ・「丸亀市部活動の地域との連携・協働」のロードマップに基づき、方向性の共通理解が図られた中で推進することができている。

令和7年度の事業計画

- ・丸亀市部活動検討委員会を定期的開催（年間2回以上）し、スポーツや文化活動を通じた学校と地域との交流事業や地域人材の情報交換を行い、丸亀市の実情に応じた部活動改革を推進していく。
- ・国や県からの通達をもとにロードマップの見直しを適宜行っていく。

回答部署 福祉課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
マルタスでのイベント ①手話言語国際デーに合わせた啓発活動：パネル展示及び手話体験イベントの実施。 ②「愛の広場」に実行委員として参加：障がい者団体が、自作のパンや花苗の販売、ワークショップなどを行い、障がいのある人たちへの理解と認識を深めるために開催している。
令和6年度の取組内容に対する評価
①手話啓発活動：指文字名刺づくりや絵本の読み聞かせなど家族で楽しめるイベントであった。 ②愛の広場：パンフレットとポケットティッシュを配布し、障害者に対する理解促進、障害者差別解消への啓発をすることができた。
令和7年度の事業計画
マルタスの利用者は広い年齢層であることから、若年層からお年寄りまでイベントに参加いただける。令和7年度もマルタスで手話言語国際デーに合わせたイベントの開催や、愛の広場に参加し、障がい者への理解促進、制度の周知等に努めたい。

回答部署 スポーツ推進課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
チャレンジデー（65,827人） 香川丸亀国際ハーフマラソン大会（9,250人） 市民体育祭（1,200人） 中讃陸上競技大会（500人） ウエスタンリーグ公式戦（7,304人）
令和5年度の取組内容に対する評価
コロナ禍を経て参加者数も回復基調である。この調子で取り組む
令和6年度の事業計画
チャレンジウィーク 香川丸亀国際ハーフマラソン大会 市民体育祭 中讃陸上競技大会 ウエスタンリーグ公式戦

基本施策（５）学びの還元機会の創出

〈具体的施策⑫〉個人や団体が持つスキルを活かす場の創出

生涯学習活動を通じて得た知識や技能を活かす場面を、活動発表の一面だけでなく、幅広く多面的に捉える意識の醸成、啓発を図ります。併せて、様々な地域課題の解決において、必要な場面と求められる人材をつなぐコーディネート機能の強化に取り組みます。

主な取組	関連部署
- 生涯学習クラブによる活動発表機会の確保 - 地域学校協働活動への参画意識の啓発 - 地域貢献活動への参加促進に対する働きかけ - 社会教育士[※]の育成に向けた支援	まなび文化課（生涯学習担当）

[※]社会教育士…生涯学習や地域づくりについての専門的な知識を学んだ人材。行政だけでなく、企業や学校等、広く社会において活躍が期待されている。（文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
- 丸亀中央生涯学習クラブ協議会への活動発表機会の支援として、生涯学習まつりへの事業補助金（55万円）を支出した。 - 各地域学校協働本部よりボランティア募集や活動に関する広報チラシを作成、配布した。 - 社会教育士の養成講座について関係機関へ情報提供を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
- 生涯学習まつりに51クラブが参加し日頃の活動の成果を発表した。 - 地域学校協働活動への参画意識を高めるため、引き続き幅広い層に啓発を行っていく必要がある。
令和7年度の事業計画
- 生涯学習センター代替施設での活動や発表の場の提供を行う。 - 地域学校協働活動への参画意識を高めるため、広報等あらゆる機会に啓発を行っていく。

《具体的施策⑬》学校・地域における活動を支える人材の発掘・育成

学校や地域が抱える諸問題と地域学校協働活動を結びつけ、学校と地域の橋渡し役となる地域コーディネーターの発掘、育成及び支援を行います。

主な取組	関連部署
・地域コーディネーター養成塾の実施、受講者のニーズや各地域の状況に合わせた内容の充実 ・地域学校協働活動への参画意識の啓発 ・学校や地域が抱える諸問題解決のための人材交流及び意見交換会の開催	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域コーディネーター養成塾を実施。今年度は公募による募集としたため受講者は増加した。（受講者12名、10名修了） ・各地域学校協働本部よりボランティア募集や活動に関する広報チラシを作成、配布した。 ・地域コーディネーター養成塾で子どもを取り巻く学校や地域環境等についての意見が出た。
令和6年度の取組内容に対する評価
・地域コーディネーター養成塾は公募により若い世代の受講者が増えた。意欲的な若い世代がいる一方、地域とのつながりが薄いことがわかった。地域とのつながりをもつための支援が必要。
令和7年度の事業計画
・地域コーディネーター養成塾を実施予定。 ・地域学校協働活動への参画意識を高めるため、広報等あらゆる機会に啓発を行っていく。

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
地域コーディネーターや学校支援ボランティアの方に学校運営協議会の委員を委嘱し、学校運営への積極的な参画、支援、協力をお願いした。
令和6年度の取組内容に対する評価
学校の運営状況を理解した上で教育活動に協力していただいた。また、さまざまな視点からご意見をいただき、次年度構想の参考にもなった。
令和7年度の事業計画
地域コーディネーターの各連携協議会への参加を推進し、学校と地域の調整役となっていただく。

基本目標3 まち全体が学校となる環境づくり

基本施策（6）地域と学校の連携・協働の推進

《具体的施策⑭》地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進

「学校を核とした地域づくり」を目指して、コミュニティ・スクールの仕組みと、地域学校協働活動の様々な活動を連携させることにより、それぞれがもつ役割が十分に機能し、相乗効果を発揮して、学校運営の改善と地域づくりに資する活動の活性化を推進します。

主な取組	関連部署
・学校や地域への地域コーディネーター養成塾などの研修機会の情報提供と参加促進の働きかけ ・小中・地域連携教育連携協議会での取組事例の紹介及び情報交換 ・国、県の情報活用及び全国的な取組事例の情報発信	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域コーディネーター養成塾と県教委が主催する地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に係る研修会について、各コミュニティおよび各小学校、各地域学校協働本部へ情報提供と受講の働きかけを行った。 ・活動中の地域コーディネーターおよび地域学校協働活動推進員へのフォローアップ研修（県外視察、意見交換）を地域コーディネーター養成塾において行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
・受講の働きかけを行ったものの、受講者数は少なかった。（県教委主催研修6名参加） ・活動中のコーディネーターの中で夜間に参加できにくい方がいたため、より多く参加できるための工夫が必要。
令和7年度の事業計画
・視察や意見交換などを内容に入れ、地域コーディネーター養成塾を実施する。

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
各学校群で年間2回の小中・地域連携教育連携協議会を開催し、各校での「小中連携」「地域連携」について情報交換を行い、各学校群での取組内容や成果と課題、方向性について共通理解を図った。
令和6年度の取組内容に対する評価
「小中連携」では、交流活動を通して、児童生徒の学習活動がより豊かになるとともに、小学校から中学校へ滑らかな接続を図ることができた。また、教員間で情報交換することにより、小学校と中学校が目標を共有することもできた。「地域連携」については、各学校群の特色を生かし、地域人材の活用による円滑な連携を進めることができた。
令和7年度の事業計画
昨年度までと同様、各学校群で年間2回の小中・地域連携教育連携協議会を開催する。連携協議会で成果を検証し、学校、地域の実情に応じた取組の精選を図っていく。

《具体的施策⑮》地域で取り組む子どもの学習支援の充実

豊かな人間形成に役立ち、学習活動を通じた地域の活性化につながる地域の教育資源（人・場所・歴史・文化）を活かした学習・体験活動、子どもの居場所づくりを支援します。

主な取組	関連部署
- 地域の教育資源を活かした取組（地域学校協働活動の農業体験、放課後子供教室の学習支援等）の現地視察を通じて地元の活動に活かすよう働きかけ - 生涯学習人材バンク登録を通じて得た地域の教育資源を必要な活動場面ににつなぐ働きかけ	子育て支援課 幼保運営課 教）総務課 学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
- 地域コーディネーター養成塾において、県外視察（高知県の町）を行った。 - 生涯学習人材バンクの登録情報を、各地区の生涯学習推進員へ提供した。
令和6年度の取組内容に対する評価
- 視察については、「学校と地域が円滑につながるには、コーディネーターの役割としてそれぞれとの信頼関係が大事である」との感想があり、これまで培ってきた人同士のつながりの重要性を学習してもらうことができた。 - 人材バンクについては、情報内容が限定的で活用状況が把握できていない状態であるため改善が必要。
令和7年度の事業計画
- 引き続き地域コーディネーター養成塾の中で、現地視察を計画する。 - 人材バンクの情報提供の工夫や利活用の呼びかけを行う。

回答部署 子育て支援課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
- ひとり親家庭や生活困窮家庭を対象にこどもが社会的孤立に陥らないよう、つながりの場を設置し、学習支援、体験活動やフードパントリー、相談対応を行った。（3か所） - こども食堂を市内で各支援団体が運営した。（11か所）
令和6年度の取組内容に対する評価
こどもを対象とする学習支援は週に1回以上、体験活動は月に1回程度実施し、好評であった。つながりの場では、フードパントリーや相談対応も実施し、保護者の支援にもつながった。
令和7年度の事業計画
引き続き、つながりの場やこども食堂の開設及び運営を支援し、こどもが安心して過ごせる居場所の提供に努めたい。

回答部署 幼保運営課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
幼稚園、保育所、こども園の子どもたちは地域の公園や歴史施設を訪問したり、地域コミュニティの支援により農業体験あるいは郷土文化に触れあうなど、様々な学習・体験活動を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
地域の人と触れ合い、自然や文化に親しみ、子どもの学習・体験活動を支援することができた。
令和7年度の事業計画
子どもと地域との絆は深く、地域の教育資源を活用して学習・体験活動を行い、成長を支援する。

回答部署 教育部総務課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
放課後子供教室を平日や長期休暇期間に行うことで、児童にとって様々な体験活動や地域交流を行える居場所となった。
令和6年度の取組内容に対する評価
スタッフ向けの研修を行ったり、教室間の情報共有を促進したりすることで、教室やスタッフの資質向上を図ることができ、児童の体験の幅も広がった。また、新規事業主の開拓の結果、令和7年度から新たに1教室開室することとなった。
令和7年度の事業計画
担い手不足の課題については、若い世代に興味・関心をもってもらうために丸亀市社会福祉協議会と連携して高校生ボランティアの募集を行う。また、ボランティアの受け入れにあたっての心構え等を学ぶ研修を開催するなど、スタッフの資質向上も図る。

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
学校支援ボランティアの方々が、各校の実情、ニーズに応じて、あいさつ運動や野菜の栽培、ミシンや彫刻刀の指導の補助等に関わってくださった。
令和6年度の取組内容に対する評価
地域の方の協力を得ながら、自然体験活動や様々な意義のある活動を体験することができ、児童生徒の教育活動がより豊かなものとなった。
令和7年度の事業計画
定期的に協議をし、昨年度実施した活動を検証することで、更なる活動の充実を図る。

基本施策（7）地域・家庭の教育力の向上

〈具体的施策⑩〉家庭教育支援の充実

行政と保育所、幼稚園、認定こども園、学校、PTA、NPOなどが連携した、家庭教育に関する学習機会と情報提供の充実を図ります。

主な取組	関連部署
- 母子保健支援事業を活用した家庭での健康づくり - 地域子育て支援拠点事業における家庭教育の場の充実 - 家庭教育事業（家庭教育セミナー、子育て学習会、家庭教育講座）の開催 - ボランティア団体による本の読み聞かせ等	健康課 子育て支援課 幼保運営課 学校教育課 図書館 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
家庭教育事業（家庭教育セミナー：127人参加、子育て学習会：15小学校延べ848人参加、24幼保こ延べ571人参加、家庭教育講座：20小幼保こ延べ672人参加）を実施した。
令和6年度の取組内容に対する評価
- 家庭教育事業については、実施数、参加人数とも増加しているため家庭教育に関する学習機会の充実が図られている。 - 家庭教育講座は実施対象が少なく、必要な保護者への提供ができていない。
令和7年度の事業計画
- 引き続き家庭教育事業（家庭教育セミナー、子育て学習会、家庭教育講座）を開催し、家庭教育に関する学習機会の充実と情報提供を図る。 - 保護者の課題や悩みを聴取し各事業に反映させるため、アンケートや関係者への聞き取り等を実施する。

回答部署 健康課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・各地区コミュニティセンター等で実施するウエルカム広場参加者へ、毎月、季節や成長段階に応じたリーフレット「育19だより」を作成し、家庭で健康づくりに取り組めるよう保健指導を実施。 ・母子愛育班連絡協議会と連携し、連絡協議会主催または各地区愛育班活動等で、会員や地域住民が家庭で健康づくりに取り組めるような健康づくりに関する健康教育などを実施した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・各地区コミュニティセンター等で、ウエルカム広場を開催し、2,811人の参加があった。11月は歯科医師会と連携し、歯科衛生士による保健指導を実施し、歯の健康づくりにも取り組んだ。 ・愛育班活動では、女性の健康や、感染症予防など季節ごとの健康づくり、心の健康づくりなどについて健康教育を実施。各地区愛育班活動で746人、市連絡協議会の研修会では313人の参加があった。
令和7年度の事業計画
・各地区コミュニティセンター等で継続してウエルカム広場を実施予定。妊娠期から健康づくりに取り組めるよう、母子保健推進員等と協力し参加を呼びかける。 ・愛育班では、市連絡協議会の研修会や各班での活動を計画。声をかけあって健診を受け、健康づくりに取り組めるよう支援する予定。 ・子育て支援アプリ「子育てナビ まるLou Lou」を活用し、健康づくり情報等について対象の属性に適した内容をプッシュ通知により発信する。

回答部署 子育て支援課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域に設置した地域子育て支援拠点（ひろば）において、子育て親子の交流を促進する取組を行うだけでなく、子育てについての相談や情報提供、助言、育児講習などを行った。また、多胎児育児に特化した取組や、地域住民との世代間交流ができる取組も行った。（5か所） ・「子育てフェスタ」を開催し、子育て家庭への情報提供や交流ができた。
令和6年度の取組内容に対する評価
・地域子育て支援拠点（ひろば）が、子育てに対する悩みや不安を相談できる身近な場所となるよう、各拠点が工夫して取り組めた。 ・「子育てフェスタ」の開催は、こどもと保護者が参加し楽しめるイベントとして認識され、アンケートでも良好な評価をいただいている。
令和7年度の事業計画
引き続き、子育て家庭の身近な場所として、地域子育て支援拠点（ひろば）に気軽に足を運んでもらい、相談から必要な支援につながるよう、丸亀市のホームページやSNSなどで周知する。地域子育て支援拠点（ひろば）事業所や併設施設をこども家庭センター連携相談窓口とすることで、子育て家庭への支援機能を強化していく。

回答部署 幼保運営課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
幼稚園等で家庭訪問を行う一方、子育て支援センターでは気軽に育児相談に応じるなどした。
令和6年度の取組内容に対する評価
保護者と話し合う機会をもち、また、子育て支援センターにおいて家庭教育の支援を積極的に行えた。
令和7年度の事業計画
保護者との対話を通じて家庭教育に関する情報提供を行い、また、家庭教育に関する学習機会の充実を図る。

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
丸亀市PTA連絡協議会主催の丸亀市PTA合同研修会に後援として協力し、学校、家庭、地域に向けて参加していただくよう広く周知を行った。
令和6年度の取組内容に対する評価
数年間継続してきた取組内容を変え、今年度はテーマを「多様性の時代に生きる子どもたちへ」とし、講演内容を不登校に関するものとした。家庭、学校、地域のそれぞれの立場での支援のあり方について考えるきっかけとなった。
令和7年度の事業計画
丸亀市PTA連絡協議会では、これまでの取組内容を生かして、様々な視点で研修内容を検討していく。

回答部署 図書館

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
読み聞かせに興味がある方（教育関係者・ボランティア・子どもをもつ保護者など）を対象とした研修会を市内の図書館3館で開催した。（参加者数：綾歌11名、中央19名、飯山17名）中央図書館にておはなしの会くれよん、綾歌図書館にてマロンベア、飯山図書館にて図書館うさぎともちゃんくらぶが、ボランティア団体として読み聞かせを実施した。
令和6年度の取組内容に対する評価
研修会には多くの申込があり、実施後に行なったアンケートでも大変好評であった。ボランティア団体による読み聞かせが、各館で定期的に行われているため、親子のコミュニケーションやスキップのためのよい時間・空間となっている。
令和7年度の事業計画
今年度も市内の図書館3館で、読み聞かせについての研修会を開催予定。ボランティアによる読み聞かせを引き続き実施していく。

≪具体的施策⑰≫社会教育関係団体等への育成支援

家庭や地域の教育力向上を図るため、様々な活動をする各種団体の支援・連携を行います。

主な取組	関連部署
・PTA、子ども会、ボーイ・ガールスカウトの支援 ・NPO法人等との協働事業の実施 ・少年団体指導者研修会の開催	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・丸亀市子ども会育成連絡協議会への運営補助（1,081千円）、ボーイスカウトおよびガールスカウト各1団に活動補助（22千円）を支出した。 ・少年団体指導者研修会を11/6に開催し、計43名の参加があった。
令和6年度の取組内容に対する評価
・丸亀市子ども会育成連絡協議会については、今年度より事務局として各種事業の支援をした。より多くの子どもたちへの支援ができるように団体の事業や体制等考えていく必要がある。 ・指導者研修会については、「子どもを取り巻く環境をもっと知る必要があると思った」や、「子どもへの接し方や、自分自身の生き方を見直したい」といった感想が見られ、それぞれの団体での指導に生かせる内容を提供できた。
令和7年度の事業計画
・丸亀市子ども会育成連絡協議会への運営補助（2,310千円）、ボーイスカウトおよびガールスカウト各1団に活動補助（各22千円）を予算措置。 ・少年団体指導者研修会を開催予定。

回答部署 学校教育課

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
丸亀市PTA連絡協議会の事業に対し、周知等を行い、各学校及び各学校単位PTAが活動しやすいよう働きかけ、PTA活動の活性化につながった。また、PTAの入会についての意思確認を書面に行っている他市町の情報について共有した。
令和6年度の取組内容に対する評価
丸亀市PTA連絡協議会の事業や情報について各小中学校を通して学校、家庭、地域に周知等を行うことで、各学校及び各学校単位PTAが活動しやすい環境となり、PTA活動の活性化につながった。
令和7年度の事業計画
周知等を積極的に行うことで、各学校及び各学校単位PTAが活動しやすい環境づくりに努めていく。

≪具体的施策⑩≫家庭における読書活動の推進

子どもが本に親しむきっかけをつかみ、読書習慣を身に付けていくための支援を行います。

主な取組	関連部署
・うちどく(家読)の推進 ・ブックスタート、セカンドブック等の実施 ・コミュニティセンターの読書環境の充実	図書館 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
・コミュニティセンターの図書コーナーの状況を把握した。
令和6年度の取組内容に対する評価
・13の地区のコミュニティセンターに図書コーナーが設置されている。図書コーナーの充実に向けての呼びかけはできていないため、生涯学習員及びコミュニティセンター職員等に状況を確認することが必要。
令和7年度の事業計画
・生涯学習推進員や図書館と連携し、図書コーナーの充実など、コミュニティセンターの読書環境充実の呼びかけをする。

回答部署 図書館

令和6年度の具体的な取組内容および取組結果
読み聞かせに関する研修会を市内の図書館3館で実施し、効果的な絵本の読み方や絵本の紹介で家読の推進を図った。ブックスタートで705人、セカンドブックで745人に絵本を提供した。R6.8/7のコミュニティセンター会長会にて、リユース図書の提供とコミュニティ図書室の整理作業の支援について周知した。R6.8/7～8/31の期間、コミュニティセンターへリユース図書の提供を実施し、計124冊（延べ3カ所）の本を提供した。コミュニティセンター図書室の整備支援も行った。（1箇所、川西）」
令和6年度の取組内容に対する評価
保護者向けの講座の実施やブックスタート等で絵本を提供することにより、うちどく推進に繋がっている。コミュニティセンターへのリユース図書の提供は、冊数が多いが提供したセンターの数が少ないので、より周知や図書支援を進めていく必要がある。
令和7年度の事業計画
うちどく推進のため、保護者向けの講座の開催やブックスタート、セカンドブックでの絵本の提供を継続して行っていく。要望があるコミュニティ図書室のに対してリユース図書の提供や整理作業・選書支援等を実施する。 また「丸亀市電子図書館」の利用をうちどくの推進につなげていく。

